

社協さくら

第 155 号
編集・発行

ふれあいネットワーク



社会福祉法人 佐倉市社会福祉協議会

発行人 谷田部 満

〒285-0013

佐倉市海隣寺町87番地 社会福祉センター2F

TEL 043-484-6197 FAX 043-486-2518

URL <http://www.sakurashakyo.or.jp>

あなたのやさしさが 幸せへの第一歩です

臼井西中学校生徒会の標語



**赤い羽根
共同募金**

10月1日▶12月31日

平成21年度の共同募金運動

**募金目標額
16,300,000円**

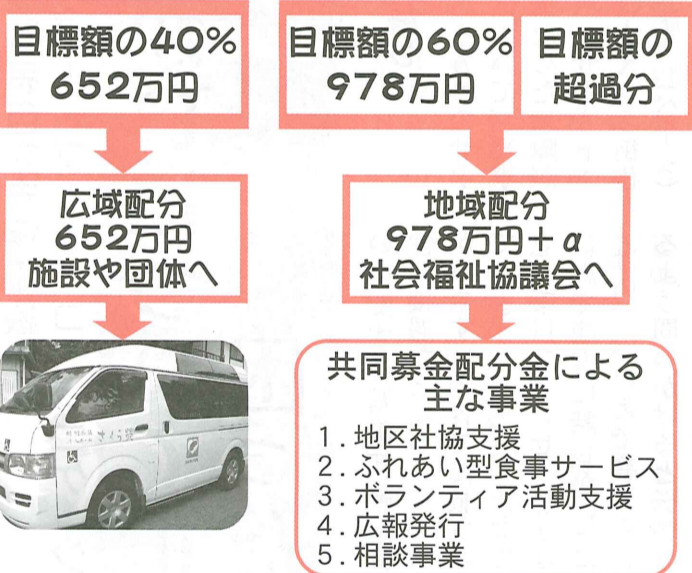
(佐倉市の人口規模、世帯数などに応じて千葉県共同募金会が設定します)



昨年の募金活動(臼井駅前)

このように使われています

ふれあい型食事サービス 110万円



拠点整備などネットワーク事業費 **329万円**

あそび場
その他
75万円

地区社協支援 **226万円**



相談事業 **91万円**



広報発行 **311万円**



ボランティア活動支援 **167万円**

新型インフルエンザの感染拡大が予測されており、市民の健康を第一と考え、平成21年度の敬老会は全て中止となりました。敬老会を楽しみにしていた高齢者や準備に携わっている多くの方々には誠に残念ですが、ご理解下さいますようお願い申し上げます。

新型インフルエンザで敬老会が中止に

平成20年度に寄附された募金額は、目標額1,630万円に対して1,961万円、331万円の超過でした。目標額の60%と超過分を合わせて1,309万円を21年度佐倉市社協の事業費として使わせていただきます。その内訳は、地区社協活動に226万円、拠点やOA機器の賃借料、社協総合保険料などのネットワーク事業費に329万円、ボランティアグループへの助成などボランティア活動促進事業に167万円、広報発行に311万円、相談事業に91万円、食事サービスの材料費に110万円、その他子どもの遊び場や福祉教育事業に75万円です。

21年度も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

赤い羽根募金の使い道

4日	12月	27日	18日	23日	2日	10月	行事予定
理事懇談会	歳末たすけあい運動	佐倉市 福祉功労者表彰式	第59回千葉県 社会福祉大会	内部会計監査	第2回評議員会	赤い羽根共同募金運動	

この広報紙「社協さくら」は、共同募金の配分金で作られています。

佐倉市社会福祉協議会役員・評議員対象研修会

法人後見活動に取り組むために

7月24日(金)、「成年後見制度と社会福祉協議会の法人後見」をテーマに役員・評議員研修が開催されました。

成年後見制度

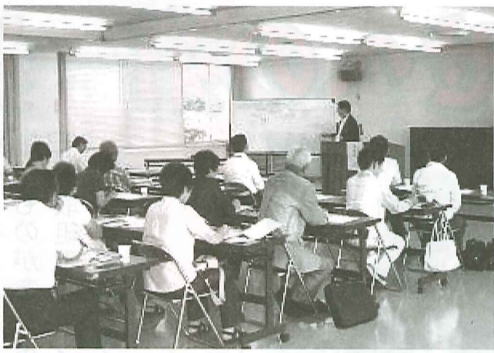
「成年後見制度」は、高齢や障がいなどで自分で十分な判断をすることができない人の権利や財産を守ることを目的に平成12年にスタートした制度です。後見人は悪徳商法などで一方的に不利な契約を結ばないよう法律面で支援するとともに、後見人がご本人の意志を尊重しながら医療・福祉・金融・住宅など日常生活上の基本サービスを適切に利用できるようにサポートします。

品川区社協の活動

今回の研修は、先駆的に法人後見制度に取り組んでいる品川区社会福祉協議会品川成年後見センターの齋藤修一室長を講師に迎え、39名参加のもと開催されました。



成年後見人には、本人の親族等以外にも法律・福祉の専門家その他の第三者後見人と、社会福祉法人その他の法人が法人として成年後見人になることが認められています。このことを「法人後見」と呼びます。佐倉市社会福祉協議会発展・強化計画では、住民のみならずが地域で安心して生活できるよう本制度の利用支援のみならず、将来的には佐倉市社協が法人として後見人業務を行うっていくことについて検討することになっていきます。



講師からは、はじめに成年後見制度の基本事項について説明があり、超高齢社会を迎えた今、社会福祉協議会が法人後見活動に取り組む意義や住民からの期待、

そして取り組むうえでの課題と対策などについて事例も交え講演いただきました。

高額商品を売りつけられ、悪徳商法の被害にあった自覚のないひとり暮らしの高齢者の娘さんが「消費者センター」に相談し、さいわいにも商品をクーリングオフ(解約)することができました。

その後、娘さんは成年後見センターに相談して、今後のことも考え判断力が衰えた母親にかわって財産の管理など行っているよう、家庭裁判所で成年後見の申し立てを行い、正式に母親の後見人になりました。

また、不必要な屋根や床下の修理代の請求をされた事例では、成年後見センターの職員が綿密に調査し、業者と掛け合って取り消しさせることができた等、成年後見制度の必要性を改めて確認することができました。

県内で法人後見に取り組んでいる社会福祉協議会はまだまだ少ないのが現状ですが、本会ではこれまで日常生活自立支援事業において培った実績とノウハウを活かし、判断能力が十分でない方が地域で安心して生活できるよう、法人後見について検討してまいります。

佐倉市障害者自立支援協議会がサポートブック、コミュニケーションボードを作成

障がいについて正しく理解して 困ったらイラスト指して

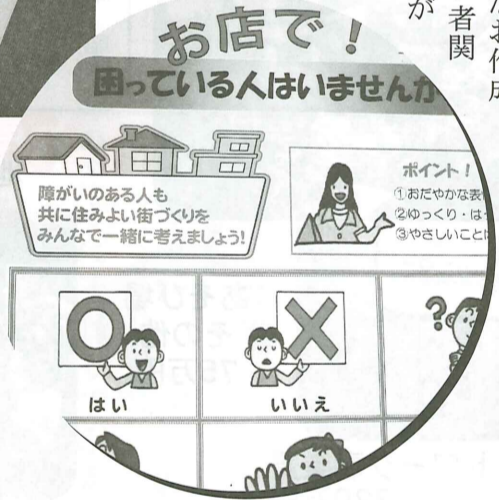
正しく理解して

障がいのある方へのサポートの仕方について、当事者の目線でもとめた「障がいのある方へのサポートブック」(A4版・42ページ)を、佐倉市障害者自立支援協議会が作成しました。それぞれ障がい(視覚、聴覚、肢体不自由、内部、高次脳機能、知的、発達、精神)に関する内容を一冊にまとめています。なお作成、編集には各障がい者関係団体の皆さんがかかりました。

障がいのある方へのサポートの仕方について、当事者の目線でもとめた「障がいのある方へのサポートブック」(A4版・42ページ)を、佐倉市障害者自立支援協議会が作成しました。それぞれ障がい(視覚、聴覚、肢体不自由、内部、高次脳機能、知的、発達、精神)に関する内容を一冊にまとめています。なお作成、編集には各障がい者関係団体の皆さんがかかりました。



また併せて、言葉によるコミュニケーションが苦手な方を支援するため、イラストを利用して意志を伝える「コミュニケーションボード」(両面カラー印刷・A4版)を作成しました。ボードは「お店で」「救急



イラストが 対話のお手伝い

「災害の時」の場面ごとに編集しています。イラストを選んで指すことで、お互いの意志を正確に確認し合うことができます。

問合せ先

●佐倉市障害者

自立支援協議会

啓発・権利擁護部会

TEL(484) 6137

●木の宮学園地域支援

センター レインボー

TEL(463) 1128

ともに歩むふくしプラン推進状況

3月に地域福祉推進フォーラムを開催

「わたしも あなたも いっしょにつくる いきいきと暮らせるまち 佐倉」をスローガンにかかげている地域福祉活動計画「ともに歩むふくしプラン」は、行政計画である佐倉市地域福祉計画と連携、協働して推進する必要がある両計画の推進委員による合同学習会が開催されました。

「地域福祉とは何か」「地域福祉の推進と評価について」の二つのテーマで二回開催され、民間計画と行政計画の役割が

改めて確認され、委員の共通理解を深めました。両計画に盛り込まれている協働課題検討の場としての「地域福祉推進会議」が設置され、9月16日に第1回目の会議を開催しました。今後は、さらに活発な意見が交わされることが期待されます。ともに歩むふくしプランの中間報告書の作成は来年3月6日に開催予定の「地域福祉推進フォーラム」に向けて準備が進められています。

佐倉市ボランティア連絡協議会(V連)誕生秘話 ～社協・障がい者とともに～



V連の誕生は

昭和54年、ボランティア10団体と個人ボランティアの地区代表メンバーにより「佐倉市ボランティア連絡協議会」(V連)が社会福祉協議会(社協)の支援を受けて誕生しました。それは佐倉市が「地域ぐるみ福祉活動推進事業」のボランティア活動促進モデル地区として取り組んだ3年目のことでした。

それ以前、社協では昭和40年代末からボランティアスクールを開催し、ボランティアの発掘・育成に努めてきました。

昭和51年5月末、佐倉市手をつなぐ親の会(現手をつなぐ育成会)と登録ボランティア団体の代表が集まって座談会が開かれ、団体の交流を図ることを中心にさまざまな意見交換が行われました。このような経緯から連携・情報交換の場としてV連が発足しました。

「ふれあい列車」と「ふれあい広場」

当時のボランティア活動は高齢者や障がい者に関係する団体が多く、施設訪問や視覚障がいの方のための朗読や点字、ひとり暮らし高齢者への配食、子どもを対象としたジュニアリーダーズクラブやガールスカウトの団体がありました。

V連も障がいのある方たちとのキャンプや「ふれあい列車」の日帰り旅行などの活動に協力しました。

昭和56年9月から10年間、V連と障害者団体連絡会が共催、佐倉市と佐倉市社協が後援して「ふれあい広場」を開催しました。映画会・レクレーションなどの行事を通じて、障がいをもつ人も持たない人も自然な交流の中でみんなの幸せを考えてい

こうという活動にV連は深く携わりました。

ボランティアのつどい

来年28回目を迎える「ボランティアのつどい」も、第一回は草ぶえの丘でおこなわれ、ゲームや交流会を通して、日ごろの活動の疑問や考えをお互いに話し合っている様子が見てとれます。



秘話その1

「V連旗」

最近になり、初代会長の故今関道雄さんのデザインによるV連旗が発見されました。役員が交代するうちに忘れられていたが「確かあったはず」という社協職員の証言にもとづいて捜索した結果、V連の部屋の書庫から見つかりました(写真)。

秘話その2

広報誌「はらっぱ」の由来

昭和55年3月に創刊された「はらっぱ」のネーミングは『こどものころ、友達と日が暮れるまで遊んだ、優しくて懐かしい響きを持つはらっぱを思い出し、みんなに気軽に集まってほしいとの期待を込めて決めた』とのことでした。

西志津地区社協共催の朝のラジオ体操参加者

ついに延べ20万人を突破しました



協力により、現在は「西志津スポーツ広場の会」の主催として、毎朝ラジオ体操を実施しています。

当初は参加者も一日60人前後でしたが、徐々に増加し今年真冬でも百人前後、春過ぎには百五十人以上になりました。特に夏休みには子どもたちも加わり、四百人前後が参加、夏休みの最後には子どもたちにも大人にも参加賞が渡されました。

目標は30万人

朝のラジオ体操は健康づくりの基となり、また規則正しい一日のはじまりとして欠かせないものになっています。次の目標は30万人です。

(西志津スポーツ広場の会 平林 慶丸)

ひとこと

朝のラジオ体操の参加者の一人として、私は平成16年から多目的広場を歩き始めて足かけ5年位になりました。お名前は存じ上げなくても顔見知りの人達(お

西志津スポーツ等多目的広場で行われている朝のラジオ体操の参加者が、7月21日ついに延べ20万人を突破しました。

「健康づくりのための朝のラジオ体操」は、平成15年7月20日この広場が開放されるとともに、西志津地区連絡長協議会の発案で始まりました。次第に、その輪が広がり、西志津地区社協が共催となり、地域のボランティア団体(四季の会、西志津芸能連盟、シルバー人材センターなど)の

広場の河津桜も成長し、今年3月にスポーツ広場の会主催で「河津桜祭り」を開催、模擬店売上げの一部を寄贈していただき、花壇の設置と夏休みの参加賞に当てさせて頂きました。



同時に20万人到達日クイズを行うところ、およそ



健康と社会に奉仕する

☑ 医薬品総合卸

岩瀬薬品(株)

本社 佐倉市錦木51
電話 043-484-1101(代表)
FAX 043-486-1620

指定居宅介護支援事業所

ユーカリのまちケアプラン

介護のことなら何でもご相談ください。

〒258-0858
佐倉市ユーカリが丘2-3-1
TEL 043-461-5102
FAX 043-461-5226

鮮やかに 卒

テオー印刷

佐倉市錦木町1137-4
☎ 043(484)0321(代)
http://www.teoh.co.jp

あなたの **夢** をカタチにします

TEL 043(485)1236

大昌建設株式会社
佐倉市大崎台1-4-15

友達)が増え、皆さんも健康を思つて歩いておられると思うと私も元氣付けられます。これからも、この広場が永く利用し続けられるといいなと思います。(いつも早起きの 井上孝子さん)

福祉総合相談所

〔相談場所〕

- ㊤社会福祉センター2階
TEL (484) 6199
- ㊤西部地域福祉センター2階
TEL (463) 4433
- ㊤南部地域福祉センター1階
TEL (483) 7211

●心配ごと相談(民生・児童委員)
㊤月曜日 ㊤水曜日 ㊤金曜日
10:00~15:00

●法律相談(弁護士)
㊤第4月曜日
10:00~15:00
※抽選で8名まで
心配ごと相談所にて受付
(9:30に抽選します)
※毎月第2水曜日に西部地域
福祉センターで行われていた
法律相談は4月1日より
廃止されましたのでご注意
ください。

〔相談場所・日時〕

社会福祉協議会事務局又は
ボランティアセンター
月~金曜日 8:30~17:00

- 介護生活相談 TEL (484) 6196
 - 貸付相談 TEL (484) 6200
 - ボランティア相談
TEL (484) 6198
※祝日は相談を行いません。
- 〔問合せ先〕
相談援助班 TEL (484) 0698

千葉県福祉人材センタ
ーでは、福祉施設・事業
所等に就職を希望する方
を対象に、「福祉のしごと
就職フェア・inちば」
を開催します。
内容は、求人のある社
会福祉施設・事業所の代
表者との個人面談や福祉
職場の相談会を行い福祉
人材の確保と就労をサポ
ートします。

平成21年度第2回 「福祉のしごと就職フェア・inちば」

開催日時 平成21年10月17日(土)
13時~16時
会場 幕張メッセ国際会議場
千葉市美浜区中瀬2-1-1
(JR京葉線海浜幕張駅から徒歩5分)
参加方法 参加費無料
当日直接会場へお越しください
問合せ 千葉県福祉人材センター
TEL 043(248)1294
<http://www.chibakenshakyoko.com/>

奨学福祉事業 菊池久治勉学奨励金創設

ひとり親家庭で低所得世帯の意欲と能力のある高校
生に大学・短期大学の学費の援助をします。
この奨励金は、佐倉市在住の方からの寄附金をもと
に今年創設されたものです。
・入学金、授業料等年間150万円を限度とする実費
・奨励金給付年数は最短期間
・返済の義務なし
・募集人数 若干名
・応募期間 10月5日(月)~11月10日(火)
・奨学生の決定は書類選考及び面接等による
・奨学生となるにはいくつかの条件、制限等があります
※申し込み・詳細は、左記までお問い合わせください。
社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会 奨学福祉事業担当
〒285-0013 佐倉市海隣寺町87番地
TEL 043(484)0685

各地の福祉まつり

★第9回オリオンまつり
開催日 10月17日(土)
10時~14時30分
場所 オリオンハウス
内容 模擬店・作品販売・出店・
バザー・アトラクション
問合せ TEL (488) 0441
★土のひろがり展
開催日 11月21日(土)~23日(月)
場所 ガレリー・リーベ
内容 陶芸作品の展示
主催 オリオンハウス他
問合せ TEL (488) 0441

編集後記

食欲の秋、スポーツの秋
とも言われ、一年で一番過
ごしやすい季節となりました。
9月10日は各地で敬老
のつどいが行われる予定で
したが、新型インフルエン
ザの感染が拡大する状況に
あることから、佐倉市の決
断で中止となりました。各
地区社協においても福祉ま
つりやサロンを中止するこ
ろが増えつつあります。
楽しみが奪われている感じ
ですが、ウイルスには勝て
ません。ここはじっと我慢
をして次に備えたいと思っ
ます。
選挙も終わって、新しい
政府も発足しましたが、私
たちの願いである「だれも
がその人らしく生きられる
社会」となることを祈りま
しょう。

寄附者ご芳名

(平成21年6月16日~
平成21年8月31日)
敬称略

寄附者氏名・団体	金額(円)
ワンコインチャリティーダンス	30,000
千葉県民謡愛好連盟	29,778
レッツ佐倉	6,290
R. D. フレンズ	30,000
全国綾姫会	40,000
鳳翔中村流(舞踊まつり)	33,557
鳳翔中村流 中村鳳紫女華	20,000
千葉琴龍会	70,989
リサイクル主婦の会	3,000
匿名	24,000
匿名	50,000
匿名(商品券)	10,000
株式会社ツルハホールディングス(車椅子) クラシエホールディングス株式会社	68,000
佐倉市立佐倉東中学校(車椅子)	26,000
新町フ・リ・マ(車椅子)	2台
合計	441,614

ありがとうございました。福祉事業に活用させていただきます。



新町フ・リ・マさんより寄贈された車いす。
ありがとうございました。活用させていただきます。

善意銀行預託・払出し

【金銭預託】
積善会 五、〇〇〇円
匿名 一〇、〇〇〇円
【指定金銭預託】
日暮幸雄 一〇、〇〇〇円
(佐倉西部地区社協へ)
【金銭払出】
帰宅旅費 七、〇〇〇円
災害見舞金 三五、〇〇〇円
【小口貸付】 40件 一、八八〇、〇〇〇円
【物品預託】
宮澤菊子 尿取りパッド1袋、リハビリ
匿名(13名) シャワーチェア二台、歩
行器、車イス、ポータブルトイレ各二台
防水シーツ一枚、ベッドシーツ一枚、衣
類、紙おむつ、リハビリパンツ、尿取り
パッド多数
【物品払出】
杖9件、浴槽台2件、ポータブルトイレ
1件、尿取りパッド10件、布団1件、紙
おむつ9件、リハビリパンツ4件、ラバ
ーシーツ1件、衣類下着6件、炊飯器1
件、お茶16件、雑巾1件

訪問介護員募集

地域のために活動してみませんか

佐倉市内に居住する方で介護福祉士、または訪問介護員1・
2級研修を修了した方を募集しています。
ご希望の方は指定履歴書に必要事項をご記入の上資格等の写
しを添付してお申し込みください。履歴書は事務局または本会
ホームページ上にあります。採用は書類選考と面接試験により
決定します。詳しくは左記までお問い合わせください。
※問合せ・申込み先 佐倉市社会福祉協議会
TEL (484) 6197